

アクサ生命の変額個人年金保険

5年計画

保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)付変額個人年金保険(06)
保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)

2013年度 特別勘定の現況 (世界分散型3ODI)

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

平成26年4月1日から、消費税率が5%から8%に引き上げられることから、
資産運用関係の費用を変更させていただきます。5ページの「運用関係費」をご確認ください。

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp/>お問い合わせ先 **0120-375-193**

<受付時間> 月～金 9:00～19:00

土 9:00～17:00

(日・祝日、年末年始の当社休業日を除く)

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント 

【利用する投資信託の委託会社】DIAMアセットマネジメント株式会社

1999年に第一ライフ投信投資顧問、興銀NWアセットマネジメント、日本興業投信の3社が合併して発足しました。競争力のある運用ノウハウ・人材を結集し、高品質な商品およびサービスをご提供しています。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)/(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。
特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)/(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(■契約概要、■注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（〇六）
保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（〇六）
特別勘定の現況（2013年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2013年4月～2014年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇しました。東証株価指数(TOPIX)は前期末比+16.25%上昇の1,202.89ポイント(前期末は1,034.71ポイント)で終了しました。期初、日本銀行が事前予想を上回る大幅な金融緩和策を決定したことなどから大きく上昇して始まりましたが、米国の量的緩和縮小の見送りやシリア情勢の緊迫化などにより1月中旬ごろまで揉み合いながらも上昇基調で推移しました。その後、軟調な米国株式市場などを背景に下落しましたが、中国の経済指標の悪化や米国の経済指標の改善などを材料に揉み合いで推移して、今期を終えました。業種別(東証33業種)では、買収による海外事業の拡大が期待された「情報・通信業」(前期末比+40.27%)が最も上昇した一方、前年度の大幅上昇の反動から「倉庫・運輸関連」(同△2.93%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+12.89%上昇の16,457.66ドル(前期末は14,578.54ドル)で終了しました。今期前半は、シリア情勢の緊迫化や財政協議の先行き不透明感などから下落する局面もありましたが、好調な雇用統計や量的緩和縮小の見送りなどを受けて上昇し、揉み合いながら推移しました。今期後半は、与野党が財政協議で合意に達したことなどから上昇した後、新興国経済の先行き不透明感などから下落しましたが、ウクライナ情勢に対する警戒感の一服などから上昇基調で推移して、今期を終えました。

欧州株式市場は、上昇しました。概ね米国株式市場と同様の動きとなりましたが、金融政策を巡る動向やウクライナ情勢などにより、値動きが大きくなる局面がありました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+2.91%上昇、仏CAC40は同+17.69%上昇、独DAXは同+22.59%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、金利が上昇しました。新発10年国債利回りは0.64%となりました(前期末は0.56%)。

今期前半は、日本銀行による大幅な金融緩和策決定などを受けて金利は大幅に低下(価格は上昇)しましたが、国内株式市場の上昇などにより上昇(価格は下落)に転じ、その後、米国の量的緩和縮小見送りなどを背景に低下基調で推移しました。今期後半は、米国の金利上昇などを受けて上昇後、国債需給の逼迫などから低下し、期末は国内株式市場の下落や需給の緩みが意識され、債券先物の売りが強まったことなどから揉み合いで推移して、今期を終えました。

日本銀行は4月に金融市場調節の操作目標をマネタリーベースに変更し、マネタリーベースが年間約60～70兆円に相当するペースで増加するよう金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、金利が大幅に上昇しました。米10年国債利回りは2.72%となりました(前期末は1.85%)。今期前半は、量的緩和と早期縮小観測や雇用統計の改善などを受けて、金利は大幅に上昇(価格は下落)しました。今期後半は、量的緩和縮小開始の決定などを背景に上昇後、新興国通貨の下落などを受けて低下(価格は上昇)しましたが、FRB(米連邦準備制度理事会)議長の見解により金融政策の継続性が確認されたことや好調な国債入札結果などから揉み合いで推移して、今期を終えました。

欧州債券市場は、金利が上昇しました。独10年国債利回りは1.57%となりました(前期末は1.29%)。概ね米国債券市場と同様の動きとなりましたが、期末にかけては、低下基調で推移しました。金融政策を巡る動向やウクライナ情勢などにより、金利の低下幅が広がる局面がありました。

FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.00～0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は5月と11月に政策金利を0.25%ずつ引き下げ、年0.25%としました。

【外国為替市場】

外国為替市場は、前期末比較で概ね円安となりました。米ドル/円相場は、前期末比8円87銭円安(前高の1ドル=102円92銭)となりました(前期末比+9.43%上昇)。今期前半は、日本銀行の大幅な金融緩和策決定などから円安が加速する一方、世界的な株安を背景に円高の動きとなるなど、揉み合いながら推移しました。今期後半は、米国で量的緩和縮小開始が決定されたことなどから円安が進行した後、米国の利上げ時期を巡る動きやウクライナ情勢などから揉み合いで推移して、今期を終えました。

ユーロ/円相場は、前期末比20円92銭円安(前高の1ユーロ=141円65銭)となりました(前期末比+17.33%上昇)。今期前半は、日本銀行の大幅な金融緩和策決定などから円安が加速した後は、金融政策を巡る動向などから円安基調で推移しました。今期後半は、ドイツ株式市場の上昇などにより円安が進行した後、ECBの金融政策の動向やウクライナ情勢などから揉み合いで推移して、今期を終えました。

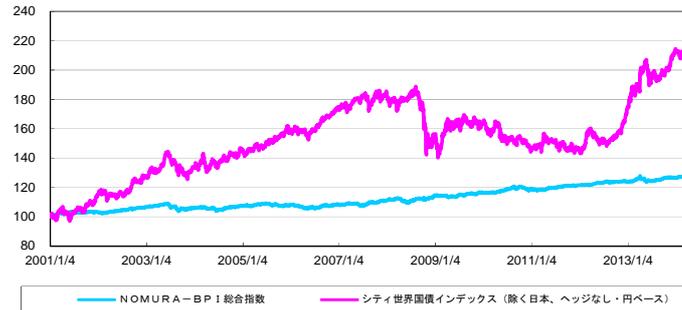
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

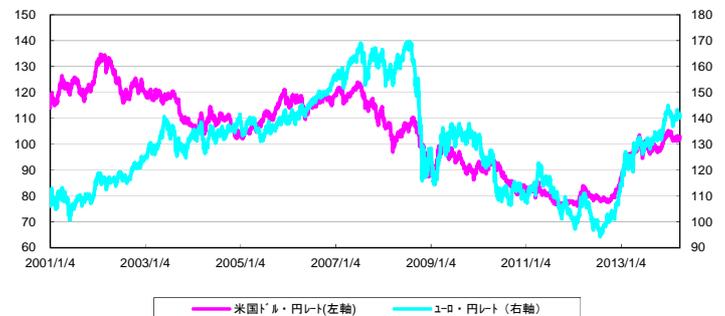


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）

株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL : 0120-375-193
 アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/

保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)付変額個人年金保険(06)

保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定の現況 (2013年度)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用方針および運用状況 [2014年3月末日現在]

特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型3ODI	当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA (適格機関投資家限定)	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、日本および世界の株式、債券などへ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。 基本資産配分比率は下記の通りとなります。当ファンドにおいて、外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。 <ul style="list-style-type: none"> 国内株式：10% 外国株式：20% 国内債券：30% 外国債券(為替ヘッジなし)：25% 外国債券(為替ヘッジあり)：15% リバランスは、1ヵ月毎(月末時点)に基本資産配分比率に戻すことを原則とします。 当ファンドの主なリスクとして、価格変動リスク、為替リスク、信用リスク、金利変動リスクなどがあります。

■特別勘定の運用コメント (2013年4月1日 - 2014年3月末日)

2013年度のユニットプライスの騰落率は+9.02%となりました。

先述の運用環境下、投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指しました。その結果、ほぼベンチマークに連動する収益率となりました。引き続きベンチマークに連動する収益率が得られるよう、ベンチマーク構成比から大きく乖離しないよう各マザーファンドを組み入れます。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定の ユニットプライス		騰落率(%)	
2014年3月末	99.01	過去1ヵ月	0.33
2013年12月末	99.68	過去3ヵ月	▲0.67
2013年9月末	94.56	過去6ヵ月	4.71
2013年6月末	92.41	過去1年	9.02
2013年3月末	90.82	過去3年	22.62
2012年12月末	84.86	設定来	▲0.99

- 世界分散型3ODIの特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月13日)を100.00として計算しております。
- 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型3ODI	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	13,777,387	99.2
現預金・その他	105,648	0.8
合計	13,883,035	100.0

- 特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- 金額の単位未満は切捨てました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	222,387
有価証券売却益	—
有価証券評価益	1,339,135
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	1,561,522

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL:0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

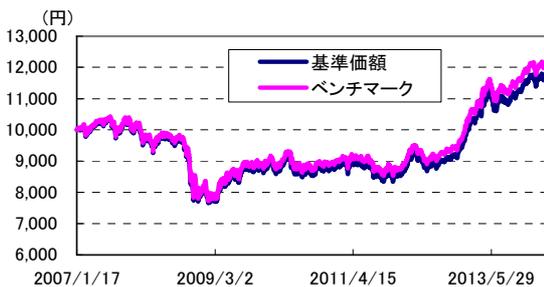
保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2013年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)の運用状況 [2014年3月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。
基準価額およびベンチマークは設定日(2007年1月18日)の前日を10,000円として表示しております。
基準価額は信託報酬(年率0.315%※(税抜0.3%))控除後です。

分配金情報(税引前)

※分配金は1万円当たり

第5期(2011.06.22)	分配金	0円
第6期(2012.06.22)	分配金	0円
第7期(2013.06.24)	分配金	0円
設定来累計分配金		0円

※直近3年分
※分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

当月末基準価額・純資産総額

基準価額	11,750円
純資産総額	26,490百万円
設定日	2007年1月18日
決算日	原則 6月22日
信託期間	無期限

ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本資産配分比率	差
国内株式	10.0%	10.0%	-0.0%
国内債券	29.6%	30.0%	-0.4%
外国株式	20.1%	20.0%	0.1%
外国債券	39.4%	40.0%	-0.6%
現金等	0.9%	0.0%	0.9%
合計	100.0%	100.0%	-

※計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。
※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。
※外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
当ファンド	0.53%	-0.11%	5.97%	11.66%	31.59%	45.93%	17.50%
ベンチマーク	0.58%	-0.08%	6.12%	12.05%	33.24%	49.25%	21.37%
差	-0.04%	-0.03%	-0.15%	-0.39%	-1.64%	-3.32%	-3.87%

※騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りとは異なる場合があります。

ファンドの特色

主な投資対象	主として国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ投資します。
投資方針	マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
ベンチマーク	以下の各資産のベンチマークを基本資産配分比率で組入れた合成指数とします。

各資産のベンチマーク

【国内株式】	東証株価指数(TOPIX、配当込み)
【国内債券】	NOMURA-BPI総合
【外国株式】	MSCIコクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)
【外国債券(為替ヘッジなし)】	シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
【外国債券(為替ヘッジあり)】	シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)

※2014年4月1日以降 年率0.324%

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外資建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、当社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。○投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL: 0120-375-193
アクサ生命 Axa http://www.axa.co.jp/

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06）

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06）

リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

△ ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は、契約初期費用・保険契約管理費・運用関係費の合計金額となります。
 なお、年金種類の変更により一般勘定年金を選択された場合には、年金管理費がかかります。

特別勘定繰入前に控除される費用

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	一時払保険料に対して 5% (例)一時払保険料1,000万円の場合、 50万円	一時払保険料を特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

据置期間中に控除される費用

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度(～3/31) 年率0.324%程度(4/1～) (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約87円(4/1～約89円)	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用(特別勘定年金受取期間中)

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度(～3/31) 年率0.324%程度(4/1～) (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約87円(4/1～約89円)	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用(年金の種類の変更により一般勘定年金を選択した場合)

※「年金払特約(06)」により年金をお受け取りいただく場合を含みます。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費*2	年金額に対して 1.0% (例)年金額が100万円の場合、 1万円	年金受取日に、責任準備金から控除します。

*1 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。なお、運用関係費は運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

*2 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他の留意事項について】

■受取総額保証金額(定期型)

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間(5年～17年)と特別勘定年金受取期間(3年～15年)の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
 株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL: 0120-375-193
 アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/